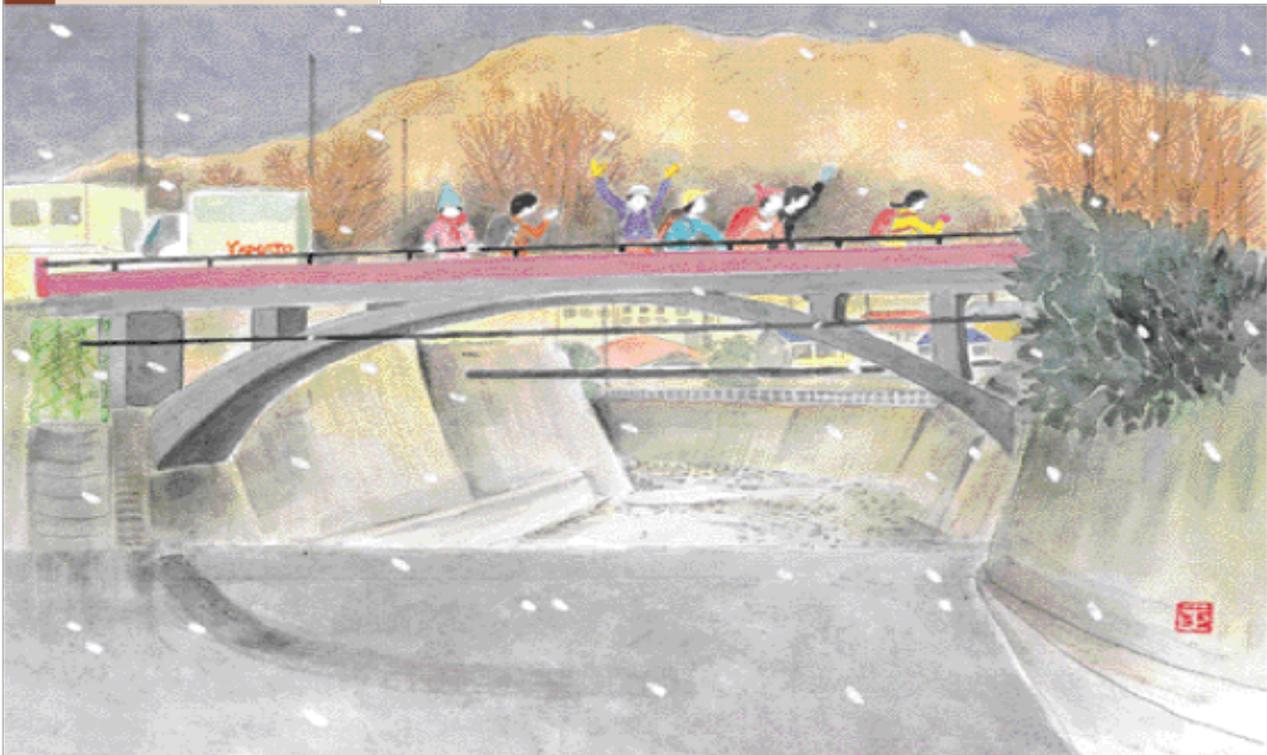




おやま町議会



おやまの橋 アーチに強さを秘める 「中野沢橋」

藤曲の東電取水ダムの下に架かる中野沢橋、野河川のゆったりした流れが、ここに来てその流れを休めます。現在架かる橋は、アイオン台風によって失った旧橋を昭和28年4月に再建したもので、当時設計を担当した代田俊

男さん(元町議会議長)によると、豪雨時にダムから流れ落ちる水圧に耐える強度が要求され、特殊な工法を用い、設計はたいへん困難なものだったとのこと。橋の長さは21.3m、幅5mのアーチ橋です。(絵:大眞正之)

No.97

12月定例会 議会委員会条例を改正	2~3
11月臨時会 議員期末手当を減額	2
常任委員会の報告	3
一般質問 10人が登壇	4~13
議会にひと言	14
編集後記	14



12月定例会

議会常任委員会の事務を見直し

補正予算 一般会計は1千479万円を減額

平成15年第7回12月定例会が、12月2日から12月18日まで、会期を7日間とし開催されました。今定例会には、町当局から、組合の規約に関する議案が4件、町道路線の認定1件、御殿場市との境界変更についてが1件、一般会計外一般会計の補正予算2件、工事請負契約の締結2件の10議案と、議員提出の条例改正が1件の合計11議案が提出され、審議の結果、いずれも原案どおり承認可決することに決定しました。

条例改正 教育委員会の事務を総務委員会へ 名称も総務文教委員会に

議会委員会条例を改正し、名称の変更も行いました。現在、議会には3つの常任委員会があり、それぞれ決められた担当事務を調査しています。

議会委員会の名称を総務委員会にすること。その名称も総務委員会は、「総務文教委員会」に、文教厚生委員会は「福祉厚生委員会」に変更する条例改正案を議員提出で発議し、審議の結果全会員賛成で可決しました。今年の議会から新しい委員会ですスタートします。

町村合併による組合規約を変更

・静岡県市町村退職手当組合規約
・静岡県市町村非常勤職員公務災害補償組合規約
・修善寺町、土肥町、天城湯ヶ島町、中伊豆町が合併して伊豆市に、御前崎町と浜岡町が合併して御前崎市になることによる各組合規約の変更を全会員賛成で可決しました。

・静岡県市町村退職手当組合規約
・伊豆市と小山町との間の住民票の写し等の交付に関する事務の事務委託に関する規約
・修善寺町、土肥町、天城湯ヶ島町、中伊豆町が合併して伊豆市になることによる各組合規約の変更を全会員賛成で可決しました。

臨時議会 議員の期末手当を減額

11月25日に臨時議会が開かれました。町議員の期末勤続手当、特別職の期末手当を減額する条例と、それに伴う各会計の補正予算が提案され、町議員の給与については、賛成多数で、それ以外は全会員賛成で可決しました。町議員の給与については現行の年4・65月から4月に減額します。特別職(町長、助役、収入役、教育長)の給与については現行の年4・65月から4月に減額します。議会議員の報酬については、期末手当を現行の年37月から35月に減額し、いずれも平成15年4月から施行します。今年度は12月に支払われた期末手当で調整しました。



▲竹之下・セイコーインスツルメンツ小山工場の工場用地造成中に奈良時代初期の住居跡が発見され、昭和55年から2年間、発掘調査が行われた上横山遺跡

総務委員会の報告

◎小山町と御殿場市との境界変更について

- Q それぞれ、交換する面積が同じだが、
A 行政面積を変えずに、それぞれ交換する面積の数字合わせを行い、実施している。全員賛成で可決すべきものと決定。

◎一般会計補正予算（第5号）

- Q 経務費の負担金補助及び交付金、町長等研修負担金を65万円減額する理由は。
A 町長海外視察研修が、主催者側の都合により開催されなくなったため。
Q 無線放送業務管理費を増額補正する理由は。
A 一般の戸別受信機217台と聴覚障害者用の文字標示機能を備えた受信機41台の取り付けが主な増額理由。全員賛成で可決すべきものと決定。

経済建設委員会の報告

◎町道路線の認定について

J R足柄駅前広場として管理しているが、県道御殿場大井線、県道足柄停車場富士公園線の2路線と駅前広場ロータリーの交差点（養本屋の前）に信号機が設置されることから、この広場の外周を町道として認定すること。

須走紅富台内の道路について、地権者から寄付の申し出があり、町道としての要件を満たしていることから認定するもの。全員賛成で可決すべきものと決定。

◎一般会計補正予算（第5号）

国、県等の町への支出金等が確定したので、最終的な事業費を年度末に対して見込みをつけて調整したものが主なもので、全体的に小額の補正となっている。全員賛成で可決すべきものと決定。

文教厚生委員会の報告

◎一般会計補正予算（第5号）

Q 子育て支援事業費のチャイルドシート購入に対する補助金が増額されているがその理由、補助の内容、現在の実績は。

A 今年度の当初予算で見込んだ補助件数より増加が見込まれ増額補正となった。補助の実績は、平成13年度59件、14年度82件、今年度はまだ41件である。その内容は、購入価格により3千円から1万円未満は2千500円の補助、1万円以上2万円未満は、5千円の補助、2万円以上は1万円の補助となっている。なお、他に4件の質疑があったが省略する。全員賛成で可決すべきものと決定。

◎国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

質疑なし。全員賛成で可決すべきものと決定。

補正予算

一般会計は総額83億9千万円に 上横山遺跡の遺物台帳を作成

◇一般会計補正予算

今回は、歳入歳出それぞれ1千49万3千円を減額し、予算の総額を83億9千99万6千円とすることを全員賛成で可決しました。平成15年度も後半に入っていることから現時点での最終的な決算を見込んだ補正となっています。

歳入では、今年度を実施

した固定資産の評価替えの

つぎに歳出では、足柄幼

結果、土地及び償却資産の課税標準額が当初に見込んだ額より上回ったことによる固定資産税の増額。また、富士紡績株式会社から、菅酒の水権横から旧富士紡績株式会社天神原社宅に通じる町道1165号線の道路整備財源にと寄付を受けた町道1165号線の道路の整備財源に増額などがある。主なものは、

◇国民健康保険

特別会計補正予算

800万円を減額し、予算の総額を15億4千39万6千円とすることを全員賛成で可決しました。

3月定例会のお知らせ

3月定例会をつぎのように開催します。平成16年度のまちづくり予算を審議します。議会の傍聴におでかけください。

◎2月26日 町長から3月議会への提出議案の説明

◎3月2日 新年度予算の課長による補足説明

◎3月8日 新年度予算の質疑と各常任委員会への付託

◎3月10日 一般質問

◎3月12日、15日、16日 常任委員会

◎3月22日 常任委員会委員の審査報告、質疑、採決

*予定ですので、変更になる場合があります。

ました



杉山悦也

須走地区以外の生活排水の処理計画は



▲処理人口5,321人、処理能力 日量5,400㎡の須走浄化センター

井 答 公共下水道として考えるが 基本計画などの策定が必要

生活排水の処理として、須走に完成間近の「公共下水道施設」、隣市で建設中の「農業集落排水事業」による施設や、「合併処理浄化槽」等がある。須走は、平成8年に工事着手（5千900人分の処理能力、隣市のは、5年計画で1千500人分の処理能力。総事業費は、須走が56億7千万円、隣市は19億3千5百万円。このように、汚水の一カ所集申処理方法は、時間と経費がかかる。住宅が点在する地域には、「合併浄化槽」が適当であると考えられるが、つぎの2点について伺う。

1、須走以外の北郷、足柄、明倫、成美地区の公共下水道施設建設の将来の構想と、

町長答弁

2、市街化区域外で、住宅が点在する農業地域での農業集落排水事業による施設については、「合併処理浄化槽」との絡みで将来の構想と、年次計画を伺う。

町長答弁

須走以外の小山、足柄、北郷地区の公共下水道の基本構想は、ひとつの区域として処理する小山処理区となっています。小山処理区の推進については、今後、基本計画の策定、事業計画の策定・認可が必要となります。

下水道施設は長期の建設期間と多額の費用が必要となり、人口の推移、地域の特性、事業の緊急性等を検討し、生活環境への影響調査や水質保全等の事業効果を見極めて、計画を策定します。

下水道事業の年次計画については、今後の事業計画の策定に合わせて決めることとなりますが、合併処理浄化槽等で個別に処理し難い落合、音頭、小山駅前通りや茅沼、生土、中島等の住宅密集地の市街地を優先的に考えたいと思います。財政等を考えるなら地域毎のコミュニティプラント等、小規模施設にすべきだと考えていますし、順序は充分検討します。

農業集落排水施設の将来の構想と年次計画については、町の農村地域は住宅が点在し、地形も起伏が多く事業費も割高となり、費用対効果も課題があることから、農業集落排水事業としての取り組みは現時点では困難です。

これらのことから、公共下水道区域外の生活排水処理については、個別処理方法である合併浄化槽設置奨励事業により水質の保全を図っていくよう考えています。

10人が質問にたち



岩田 潤泉

三国山稜上の自然保護と その管理について



▲三国山頂に設置された県の「自然環境保全地域」を示す看板

【 井 答 】
境界杭は町の管理ではないの
で、国、県に連絡しました

三国山稜上の奇様なこと
3点について
1、三国山頂の砂利の不法

投棄について、当局の初動
調査に見落としはなかった
か。事実を意図的に隠蔽し

ているとも思われるが…
9月議会の答弁は確たる調
査に基づかないものではな
かったか。現地の実状をつ
ぶさに丹念に調べたのか。
さて、この砂利は山中湖
村の責任であったか否か。
2、世附峠から峠坂峠へ行
くコース沿いにある貴重な
ヒオウギの群落は町の委託
業務により一本残らず無残
にも刈り払われたこと。
保護を訴える給入りの看
板も立て、課長にも念を押
して申し入れもしてあるの
に、かようなひどいことが
行われた原因、責任を問う。
3、三国山稜づな峠からあ
ざみ平へかけてのコース、
山梨側は国立公園、小山側
は自然環境保全特別地区の
重要な境界杭が点々と抜け
落ち道端にころがり10年も
放置されている。この管理
責任はどこにあるのか。

町長答弁

1、9月議会で、現地を調
査し、山中湖村に砂利の確
認を依頼したことを報告し
ました。その後、この砂利
は、山中湖村の事業とは関
係ないとの回答を得ました。
それでは、誰が何の目的
で砂利を置いたのか当時に
遡って探求することは、困
難ですので、理解してい
たきたいと思います。
2、ハイキング道の管理に
ついては、以前から「ヒオ
ウギ」の場所は、草刈作業
をしないなど、大事なこと
を認識して作業を行って
いただけていました。今回も
委託作業の責任者の方も保
護については、十分に認識
をして、良心的な作業を実
施していただきますので、理解し
ていただきたいと思います。
3、杭が、いつ頃から放置
されていたかについては、
確認できませんが、これら
の杭は、町で管理する杭で
はないので、山梨県や森林
管理者に確認してもらうよ
う連絡しました。



池谷 良郎

幼児期からの指導教育 どのように考えているか



▲園庭で元気に遊ぶ小山幼稚園の園児

井 遊びや道徳を中心に 心の教育をすすめている

青少年の基礎教育について

私は、数日前駿河小山駅の前を通り、駐輪場の中に入り使用状況を見て、その駐輪場の入口に掲げてある使用規則には、自転車に住所氏名を記入し、盗難防止に鍵を掛けるよう指示してあったが、大部分の自転車には何も明記してありませんでした。今の高校生や大人に言っても素直に聞くと

は思いませんが、幼児や小学校低学年の時、しっかり社会教育や基礎教育をしなければならぬと思います。今の世の中は経済がある程度豊かで、子どもが少なく、その親のみの子であり、昔のように互いに切磋

琢磨し、我慢をしなければ生きていけない時代でなく、個人主義を利己主義、自由主義を勝手主義と履き違え、基本的しつけが徹底してない。幼児期の指導教育に力を入れるべきではないかと思えます。

教育委員会の現状認識は、その具体的方針を伺う。

教育長答弁

今日、大人も児童生徒も他人への思いやり、よいことや悪いことの区別、社会の決まりを守るという心が不足していると指摘され、小山町の児童生徒にとっても、例外であるとはいえませんが、

社会の決まりを守る基となる心の教育は、早期から取り組むことが必要です。幼稚園教育では、カリキュラム編成の基準となる「幼稚園教育要領」の中の

人間関係の内容として「友だちといっしょに物ごとをやり遂げようとする気持ちをもつ」、「友だちとのかわりを深め、思いやりをもつ」、「友だちと楽しく生活

する中で決まりの大切さを気づき守ろうとする」などがあり、これらを中心として、各幼稚園で日々遊びを通して保育を実践し、心の教育に取り組んでいます。

小学校の低学年の児童には、道徳の授業を中核として、よいこと悪いことの区別、よいと思うことを進んで行う、みんなが使うものを大切にし、約束や決まりを守るといった内容について、さらに教科の授業、体験活動、学校の諸行事、毎日の朝の会、帰りの会などのいろいろな機会を通じて、心の教育に取り組んでいます。

また、家庭での取り組みとして、乳幼児や小学生を持つ親の家庭教育のために、お父さんの子育て手帳や家庭教育手帳・ノートを持っていただき、心の教育を進めています。

身体障害者3級の方まで 医療費の助成はできないか

昨年の10月から実施された高齢者への新たな医療費負担制度は、在宅酸素療法
の患者など高齢者の命を削
る深刻な事態をつくってい
る。

重度障害者医療費の助成
は、自己負担の軽減を図り
助成事業の拡充を望むもの
である。

現在、助成対象の身体障
害者は1級または2級に限
られているが、これを手帳
所持者3級まで拡大すべ
きと考えるが、その考えは、

1、町独自助成事業として
障害者3級までの拡大を望
む。また内部障害の補助対
象は2級がなく1級までに
なっている。この在宅酸素
療法の患者への3級助成を



加藤 宏和



▲写真と本文とは関係ありません

井 県の補助制度の拡充が必要
答 障害者計画の中で研究する

求めるがその所見を伺う。
2、障害者の医療費負担3
級まで行っている県は全
国20都道府県となっている
(静岡県は2級まで実施)、
町は早急に在宅酸素療法を
含め障害者3級への助成と
「現物給付」や「所得制限
をなくす」等、医療費の負
担改善について県にその実
施を求めていく考えがある
か伺う。

町長答弁

この制度は昭和48年に始
まり、30年が経過しており、
二分の一の県の助成を受け、
町が該当者に本人負担分の
医療費の全額を補助してい
る制度です。

身体障害者手帳所持者は
89人で、そのうち重度心身
障害者医療費助成の受給者
証を所持しているのは29人
です。

また、3級の障害者手帳

の所持者は89人となってい
ます。町としても障害者の
方の医療・福祉の充実につ
いては重要な課題として取
り組んでいますし、今後も
推進をしていきますが、3
級までの拡大については、
今後の財政的なことから
県の補助制度の拡充が必要
と考えます。

また、現在、策定中の第
2次障害者計画の中でも研
究していきます。県でも、
身体障害者手帳3級所持者
まで拡げることについては、
他の施策との充実とのバラ
ンスを踏まえ検討課題とな
っています。

「現物給付」や「所得制
限をなくす」等の改善につ
いては、町が実施した場合
には、町の国民健康保険へ
の国の補助金の削減という
ペナルティもあり、これら
の改善が必要であるので、
機会を捉えて県へ要望して
いきます。



▲昨年11月8日に開催された青少年健全育成大会の教育講演会



廣嶋 邦彦

教師や親への心の教育 どのように取り組んでいるか

教師や親の視野が狭く
なっているいま、世間を見
る目を養い、自分の教養を
高めることが急務と考える。
学校や家で、家族が子ども
の成長のためにできること
を考えるべき。創発的な思

考力と豊かな人間性を育て
るための施策を町として
もっと進めていくことがで
きれば、自分自身の考え方
や思いを、相手に伝える表
現力が生まれてくるはずだ。
それにはつぎのような「心
の教育」を徹底させること
が必要と考える。

1、「教師に対する心の教
育」や「親に対しての心の
教育」の現在の取り組み、
また将来の取り組み方はど
うするのか。

2、ことばの使い方におい
ても乱れが見受けられるの
で、「正しいことばの使い
方」の研修会を進めていく
必要性を感じるが、どのよ
うな方針を立てているのか。

教育長答弁

1、現在の教育委員会制度

では、教師に対して町の教
育委員会で直接教育につい
て指導・助言することは限
られていますので、外部に
委ねているいるるな研修をす
めています。心の教育に
ついても、外部研修に委ね
ています。具体的には、県
や駿東地区、町の教育研究
会、さらに各学校での日々
の教材研究、定期的教科部
会、校内研修等が研修の場
となっています。

親に対しては、家庭教育
手帳、家庭教育ノート、父
さんの子育て手帳を配布し
たり、学級懇談会を開催し
て、心の教育について研修

をしてもらっていますし、
町の生涯学習講座や教育講
演会にも出席していただい
ています。今後もバランス
をとりながら研修を進めて
いきます。

2、今日、若者に代表され
られるのは事実であり、町
の小・中学校でも十分な状
況であるとは言えません。
そこで小・中学校では、

心の教育の基本として、教
師、児童、生徒も他人を「○
○さん」と呼び、「呼び捨て
にしない」、「あいさつをし
よう」、「体前をしない」と
いう3点の徹底を図ってき
ました。その効果が少しず
つ現われてきていますので、
こうした実状を踏まえ、さ
らに町内の幼稚園、小・中
学校の実状を把握したうえ
で、研修会が必要か検討し
ていきます。

井 外部研修や家庭教育手帳の配布など

答 バランスをとってすすめている



眞田 勝



▲上下線合わせて大型車303台、小型車625台が駐車できる足柄SA

足柄SAにETCの専用 インターを設置する考えは

柄サービスエリアにこのETCの設置を要望していく考えについて伺う。

町の都市計画マスタープランでは、足柄サービスエリアは、広域都市交流拠点として、長距離運転手、観光客と町民との交流の場の育成や、特産物の販売場所の設置を行うと位置付けています。国土交通省が進めようとしている「スマートETCインター」に最適地だと思われま

町長答弁

松田御殿場間は日本の平均10・4kmの倍、26kmもあります。このサービスエリアの近くには町でも温泉を利用した「町民憩いの施設」、都市住民との交流の場として

てクラインガルデン等を計画しています。町と御殿場市で関係機関に対して、設置に向けての要望を行っていく考えがあるか伺う。

現在、ETCの車載普及率は約12%であり、最近の静岡県内における東名自動車道でのETCの利用状況は全体の約10%です。当然、ETC専用ETCの設置を考

える場合には、その必要性と費用対効果をよく検討することが大切ですが、御殿場市のアウトレットや、富士スピードウェイでのF1レースを想定し、足柄SAから直接出入りができないか公団に尋ねたことがあり

ます。それに対し直接公団で実施する予定はないが、高速自動車国道法の第11条の規定により、自治体等の事業者の申し出があり適格であれば可能であるとのことでした。そのため、御殿場市長や2市1町行政懇談会の席上においても、話題にさせていただいた経緯もあります。

しかし、まったくの概算ですが、ETCを上下線1台づつに設置するのに1億円、これに周辺整備を含めると約5億円の事業費が見込まれ、さらに恒常的な管理費も必要になります。したがって、自治体だけの実現は厳しいのが実状なので、その負担を企業者に求めたり、道路公団に設置してもらえようとするなど、難しい課題ですが、実現に向けて努力します。

井 自治体だけでは厳しいが
答 実現に向け努力する

須走、北郷、足柄、小山地区の 公園整備をすすめてはどうか



池谷 洋子

井 地区とも十分協議し、特色 ある公園づくりをすすめる

1、公園整備の充実につい

(1) 水や緑の自然に恵まれ、世界に誇る富士山や富士スビードウエイのある小山町にさらに全国からたくさんの方に来ていただけるよう

な、例えば花時計を中心としたフラワーパークのような公園を造る計画は、ございますか。

また、須走、北郷、足柄、小山地区の公園整備をしていくことについての考えは、

(2) 公園に手洗い場の設置や古い危険な形状の遊具を最新型の安全な遊具に取り替える考えは、

2、役場内や公共施設(多目的広場)のトイレ整備について

役場は町の顔であり、居心地のよいオアシスでなければいけないと思います。そこで、洋式トイレや、身障者用の多目的トイレ、ま

た、赤ちゃん連れの方にベビーカーやベビシートを設置した親子トイレの整備を推進していくことについての考えは、

町長答弁

1、(1)公園整備は、豊かな自然を利用し、森林浴やハイキング等、自然と触れ合うことができ、体験学習もできる特色ある公園づくりを視野に入れて考えています。地区とも充分協議し、特色ある公園づくりをすすめていきたいと考えます。

(2)児童公園の手洗い場や新規遊具の設置については、区とも相談し、要望等に基づき計画的に取り組んでいきます。

都市公園については、特色ある公園づくりをすすめる上から、多くの方に公園づくりに参加していただき、行政と一体となった公園づ

くりの中で、遊具の設置についても考えていきます。

2、町の公共施設は、育児に携わる親や、高齢者、身障者の方にも配慮し、誰でも利用しやすいユニバーサルデザインに努めて整備して

います。特に健康福祉会館は、すべてを完備していません。しかし、役場本庁舎には身障者トイレや洋式トイレはありますが、ベビーカーやベビシートがトイレ内に無いなど、充分ではありません。

今後、既存施設を含め、財政の状況を見ながら順次進めていきたいと考えています。





岩田 治和

豊門会館やその周辺を含めて 富士紡記念館を新設する考えは

井

**現在、豊門会館等の周辺の
買収について協議中**

明治31年、富士紡績株式会社
が当町に進出され、以降企業城下町として発展し
多大な恩恵を受けているこ
とは言うまでもなく、町史
にも大きな足跡となってい
る。しかし昭和40年以降、
繊維産業の構造不況の影響
により移転、縮小を余儀な
くせざる状況である。
近年、工場縮小にともな
い工場敷地や社宅跡地等の
売却が行われる状況にある。
残念ながら、これまで売却
された不動産の中には歴史
的、文化的に重要な意味を
もつ建物等も数多く見受け
られ、保存されずに廃棄さ
れたものも少なくない。

今後、「豊門会館」敷地
および「和田坂」周辺の不
動産も売却が方向付けられ
ているため、当町で保存で
きないか関心が高まってい
る。
そこで、町長につきの2
点について答弁を求める。
1、史跡および文化財の保
存に対する考えは。
2、「富士紡記念館(仮称)」
の新設について考えは。

町長答弁

1、富士紡績株式会社は、
小山町の歴史を語る上で、
重要な役割を担い、町とし
ては、これを子どもにも、そ
して後世に伝え、文化的価
値あるものは、その価値を
失うことなく保存していく
ことが、文化財保護の観点
からも重要な責務であると
考えています。
2、平成12年に富士紡績株
式会社の工場の一部を利用
して、記念館の設置につい
て富士紡績株式会社と協議
しましたが、創案から現在
に至るまでの機械類や書類
関係などの歴史的な史料に
ついて、その時点ではほと
んど物が処分されていて、
会館等の周辺敷地買収につ

白ペンキ塗りの下見板張りのできた木造2階建ての「豊門寮」。西洋館
▼の名で親しまれている。



富士紡績工場施設の一部を
利用しての記念館設置を断
念した経緯があります。
そこで、平成14年に富士
紡績株式会社からの申し出
により、建物を含めた豊門
周辺道路の整備について、
小山町と富士紡績株式会社
の歴史を考えた公園として、
文化的価値、運営、保存等
検討しながら、富士紡績記
念館に代わるものとして、
整備方針を決定したいと考
えています。

答 地元や関係機関で組織した
井 連絡調整協議会で対応する



込山恒広

▼造成工事がすすむ富士スピードウェイ



スピードウェイのリニューアルに伴う
課題に、どう対応していくのか

1、2005年には、富士スピードウェイがリニューアル・オープン予定とのことで、町では、国土技術研究センターへ「富士スピードウェイのリニューアルに伴う地域振興策検討業務委託」をされ、また、富士スピードウェイ連絡調整協議会等も設置してあるとのことですが、それらを踏まえた町長としての重点施策及び年次計画について伺う。

町長答弁

1、平成13年度の業務委託の提案を受けて、地元と関係機関、事業者の連絡調整の場として「富士スピードウェイ連絡調整協議会」を設置し、週目、第1回目の会議を開きました。

今後、町は、富士スピー

ドウェイに関連した課題について、この協議会の中で対応していきます。また、インフラ整備等については、具体的な年次計画はありませんが、短期・中期・長期という形で整備目標がまとまっていますので、順次その実現に向けて、取り組んでいきます。

2、モータープールについては、基本的には、事業者で対応すべき課題ですが、企業の駐車場や生涯学習センターなどの公共施設の駐車場が考えられます。

そして、将来的には須走地区に計画している道の駅の駐車場も利用できるのではないかと考えています。

事業者においても、今年度はいくつかのレース時に、仮設駐車場から、観客をバスで送迎するシミュレーションを繰り返すなど、交通計画を検討しています。

町としても、平成17年春のオープンに向けて、できる限りの対策を進めていきます。



芹沢 建一

町名を漢字の「小山町」から ひらがなの「おやま町」にしたらどうか

答 **井**

**町民の意向がまず第一
必要に応じて取り組みたい**



先日、山北町において蒸気機関車を走らせることも、田原市も含めた御殿場線の

シンポジウムで、私はこの地域は富士箱根に囲まれた日本一の観光地ではないかと発言しました。

その中でも特に小山町は富士山、金時山、足柄峠、三國山、鮎沢川等にすべて関係しているすばらしい観光資源のある町だと思っています。

そしてこれからの小山町を大いに発展させたいのですが、町名を「小山町」から「おやま町」に変更したらどうかと思うのです。

町民の多くがその気になれば町名は変更ができます。小さい山よりおやま（御山）町の方がよいではないでしょうか。

町長答弁

小山町名を漢字の「小山町」から平仮名の「おやま町」に変更したらどうかという提案ですが、小山町名

誕生の経緯は小山町史第8巻に記載されています。

私は21世紀のまちづくりを目指して策定した、第3次小山町総合計画の策定過程で、世界に冠たる富士山を擁する小山町を世界に向けてアピールするには、小山町の前に富士を付けて富士小山町としてはどうか、町民アンケートで町民の意向を尋ねました。

すると、「変更する必要はない」が59.3%、「変更したほうがよい」が20.7%、「分らない」が16.2%という結果でしたので、具体的な取り組みはしませんでした。

仮に市町村名を変更しようとするときには、都道府県知事と協議し条例でこれを定めると地方自治法で定められています。議員の意見は拝聴させていただきますが、何よりも町民の方々の意向が大切であると考えます。今後はその動向を見極めながら、必要に応じて取り組みたいと考えています。



豊かな自然を とり戻そう

岩田 亮一 (向方)

虫が少なくなってきた。増やしたいと思ひ、小学校や有志、会員等に調査をお願いした。会員等で先進地の天城湯ヶ島町、隣りの深沢地先も見学した。湯ヶ島は養殖に成功し、集客の目玉になっていた。当地区の結果は各水系に少数の虫が悲しそくに舞っていた。

私の小学校時代、顔にぶつかるとの乱舞の中で虫とりをした。記憶に残るだけだが、その豊かさを次世代に引き継ぎたい。この私を育ててくれた教本の川を調べ驚いた。なつかしい種々の川虫類、カジカ等の魚類、餌のカワニナもいない。こんなに生態系が破壊されたのかと愕然とした。復元は不可能か、若い少子化指向世代は本能が感知しているのか？ 農林業、ゴルフ場、鉄道等の管理省力化のため、除草剤を撒散らして、長期的には人体に蓄積

議会のついで



将来につながる 議会政治を

小見山 福江 (下木町)

最近、都内に家を新築のため、帰省中の旧友と会食の機会がありました。「私、この辺に住みたいな。富士山は見えるし、空気は綺麗だし、水は美味しいし、第一、環境がいいよ。」確かにそこは、広い公園、プール、公民館には体育館まで備え、住むなら〇〇と言われている地域です。以前、先輩から、A村は将来のため、財産づくり、B村は教育に熱心だったと

聞いたことがあります。町村共、学校教育、社会教育、スポーツにと、人を育て、育った人々が、豊かな地区を育てていく。伝統は引き継がれ、今日に至っているのでしょうか。有線テレビの放映がないわたしたちは、唯一議会だよりを興味深く読ませていただいています。大きな問題から細かなことまで、価値観が多様化されている現代、行政と議会の

されると自問している。中山間事業も完成されたが、人間だけが自然を占有できない。湧水を湧に通してもらい、自然の回復を願っている。人工飼育の難しさと共に底上げはできない。自然の素晴らしさを求めよう。

「一日の命の尊さは宇宙に満ちた財産にも勝る。一日の命、時間を何のために使っていくのか。その積み重ねこそが、一生の価値ある人生を築くことにつながる。」と。人生、大変な時こそ「負けたらアカン」と自分に言い聞かせ、一日一日を富士の如く堂々と生き抜きたい。

編集後記

2003年を締めくくると12月の議会は、一般質問に10人が登場いたしました。また、本年も心新たに出版を期してまいります。さて、今年も激動の時代が続くといわれています。私の周りにも、リストラ、病気、家族の問題等、悩んでいる人たちがたくさんいます。かつて自分自身も、そういう時期がありました。先輩に相談したところ、

「人生には上り坂、下り坂がある。そして、もうひとつ、まさかという坂がある。そのまさかの坂を乗り越える力は、希望と勇気、前へ前へと進み続けることが大切。」と激励してくださいました。また、ある哲人曰く、



〔池谷洋子 記〕

- (編集委員)
- 委員長 真田 勝
 - 副委員長 梶 繁美
 - 委員 池谷 洋子
 - 委員 岩田 治和
 - 委員 小野 孝浩
 - 委員 廣嶋 邦彦
 - 委員 込山 恒広